

## 宇都宮市立横川中央小学校 第5学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている」の肯定割合は62.2%で、県を13.8ポイント上回っている。また、「学習して身に付けたことは将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」の肯定割合は98.8%で、県の肯定割合を4.7ポイント上回っている。以上のことから、学習に対しての意欲が高く、自主的に学習に取り組んでいるといえる。

○家庭学習の内容について、「家で、学校の授業の予習をしている」や、「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の肯定割合は県の肯定割合を大きく上回っている。今後も自主学習のやり方や進め方、内容についてアドバイスをしたり、自主的に取り組んでいる児童の例を紹介したりして、さらに家庭での学習意欲を高めていきたい。

○「毎日の生活が充実していると感じている」の肯定割合は92.6%で学校生活に満足している様子が見られ、また県を4.9ポイント上回っている。

○「グループなどの話し合いに自分から参加している」の肯定割合は87.8%で県を10.2ポイント上回っており、話し合い活動に意欲をもって取り組んでいる。

○「自分には、よいところがあると思う」の肯定割合は89.1%で県を9.9ポイント上回っている。また「自分のよさを人のために生かしたいと思う」の肯定割合は95.1%で県を9.0ポイント上回っており、日々の生活を前向きにとらえている様子がうかがえる。

○「自分は家族の大切な一員だと思う」の肯定割合は100%で県を8.2ポイント上回った。

○「分からない国名や地名があったら、インターネットや地図帳などを使って調べている。」の肯定割合は70.7%で、県を8.7ポイント上回っている。今後も、調べ学習を多く取り入れていきたい。

●「1日当たりどれぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使用するか」という質問では、持っていないと答えた児童が県を6.7ポイント下回り、本校児童は携帯電話やスマートフォンを持っている割合が高いという結果が見られた。

●「新聞を読んでいる。」の肯定割合は、8.5%で、県を6.8ポイント下回っている。学校においては、国語や社会の時間に新聞を活用する学習を取り入れ、新聞記事に触れる機会を多くしていく必要がある。また、家庭学習でも、新聞記事から読み取れたことや記事を読んだ感想文などに取り組むよう促していきたい。